分野別にみた施策の展開

1．障害者への歯科保健医療対策

（１） 平成 30 年度の実績

神戸市歯科医師会が指定管理者として運営する「市立こうべ市歯科センター」において、障害者、高齢者など地域の歯科診療所での治療が困難な人を対象に、日帰り全身麻酔や静静法などの専門的な医療を実施。

平成 30 年度　こうべ市歯科センター受診者数

	心身障害者	有病者※	非協力児	歯科診療恐怖症	重度嘔吐反射	その他	合計
受診者（人）	4,713	265	202	98	129	146	5,553
構成比（%）	84.9	4.8	3.6	1.8	2.3	2.6	100.0

※歯科以外の他科の疾患を併せ持つ人　　　こうべ市歯科センター調べ

平成 30 年度 歯科センター利用満足度アンケート調査

回答者数：109 名（平成 31 年 1 月 15 日～1 月 19 日に、歯科センターにて治療した患者またはその家族等）
結果：大変よかった 65%、よかった 31%、よくない 1%、どちらともいえない 1%、無回答 2%

神戸市歯科医師会調べ

① 訪問歯科保健指導・訪問歯科健康診査および研修会

障害者施設への訪問歯科保健指導や訪問歯科健康診査および障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催。

・障害者施設への訪問歯科保健指導の実績　4 施設 11 回
・障害者施設への訪問歯科健康診査の実績　5 施設 7 回
・障害者歯科医療研修会の実績（年 1 回実施）60 人参加

② 障がい者歯科診療対応歯科医院　新規

新たな取り組みとして、市歯科医師会が会員に対し、地域で障害者の歯科診療ができる歯科医院を募集し、市内 114 歯科医院を「障がい者歯科診療対応歯科医院」としてホームページ等で紹介。

（２） 令和元年度の取り組み

引き続き「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに、これまでの障害者施設への歯科保健指導や歯科健康診査および障害者歯科に関する歯科医療研修会に加えて、障がい者歯科診療対応歯科医院に対しても研修会を開催。

２．地域包括ケアに向けた取り組み

（１） 平成 30 年度の実績

① 口腔ケア研修会の開催支援

神戸市介護サービス協会および神戸市歯科医師会が実施する介護関係者を対象とした研修会の開催を支援。

② 地域ケア会議および神戸市介護保険専門分科会による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンター主体の地域ケア会議（280 回うち歯科医師会参加：71 回）と、区主体の地域ケア会議を開催し（3 区に歯科医師会が参加）、地域において多職種のネットワーク（歯科医師を含めた）構築や、地域課題等について意見交換を実施。また、医療・介護関係者や行政で構成する「神戸市介護保険専門分科会」において、地域ケア会議での検討内容を報告。

③ 地域包括ケア推進部会の各区での多職種連携の推進

「地域包括ケア推進部会」（歯科医師含む医療・介護関係者で構成）および 4 専門部会を開催し、専門的な課題について議論。医療介護サポートセンター（10 か所）において、歯科医師を含めた多職種連携会議や事例検討会を合計 239 回開催。

④ 訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業

神戸市歯科医師会の歯科保健推進室を窓口に、兵庫県歯科衛生士会の協力により、歯科衛生士による訪問口腔ケア事業を実施。歯科医師・歯科衛生士の資質向上のために、年 2 回の研修を実施。

訪問歯科診療受付状況（平成30年度）

	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	合計
人数（名）	11	2	13	2	9	12	50	10	17	126

神戸市歯科医師会調べ

訪問口腔ケア事業実施状況（平成30年度）

	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	合計
延べ回数（回）	367	40	10	116	44	12	23	23	0	635

神戸市歯科医師会調べ

⑤ 「口腔ケアに関するシンポジウム」の開催（3 月 17 日） 新規

医療・介護に従事する幅広い専門職を対象に「いつまでも口から食べられるを多職種で考える」をテーマに、高齢者の口腔ケアについて考えるシンポジウムを開催。

（参考）

※在宅・施設での口腔ケアに関する介護保険利用実績（平成 30 年度平均）

歯科医師や歯科衛生士による口腔ケア（居宅療養管理指導）を受けている要介護認定は 2,908 人（要介護認定 53,042 人（平成 31 年 3 月末現在）の 5.4%）。

※高齢者施設での口腔機能管理の取り組みに関する介護保険利用実績（平成 30 年度平均）

歯科医師や歯科衛生士が介護職員に対して、口腔ケアにかかる技術的助言・指導を月 1 回以上行っている施設は、181 か所のうち 71.8%（130 か所）。歯科医師等による個別の口腔機能維持管理指導を受けている人は 8.5%（840 人／9,875 人）。

（２） 令和元年度の取り組み

口腔ケア研修会の開催支援、地域ケア会議による相互連携体制の構築、各区での多職種連携の推進および訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業などを引き続き実施。

３．救急医療対策（歯科）

（１） 平成 30 年度の実績

救急医療対策の一環として、神戸市歯科医師会附属歯科診療所において、休日の歯科救急医療を実施。

所 在 地：中央区三宮町２－11－１　センタープラザ西館５階
設置運営：公益社団法人　神戸市歯科医師会
診療時間：休日（日曜、祝日、振替休日、年末年始[12/29 ～1/3]）の 10 時～15 時
受診者数： 1,210 人　（一日平均　16.6 人）

平成30年度 休日歯科診療所実績　症状別（複数該当あり）

症状	かむと痛い	はれた	むし歯	詰め物・冠がはずれた、入れ歯が壊れた	歯周病	外傷	歯がしみる、ずきずき痛い	その他	合　計
人数（人）	306	281	342	247	158	140	91	64	1,629
構成比	18.8%	17.2%	21.0%	15.2%	9.7%	8.6%	5.6%	3.9%	100.0%

神戸市歯科医師会調べ

（２） 令和元年度の取り組み

歯科医師会や歯科衛生士会などの医療関係者、行政が協力して、休日歯科診療所を引き続き運営。

４．がん対策（口腔がん）

（１）　平成 30 年度の実績

① 口腔がん検診の実施

神戸市歯科医師会が附属歯科診療所（センタープラザ西館５階）において神戸市立医療センター中央市民病院（以下、中央市民病院）に所属する日本口腔外科学会専門医による口腔がん検診を月４回実施。

口腔がん検診の実績（平成30年度）

実施回数	受診者数	検診結果		異常なしの内要歯科受診	紹介状
		異常なし	要精検		
47	778	748	30	179	29

※紹介状：要精検および要歯科受診者へ渡した数

神戸市歯科医師会調べ

② 広報啓発

神戸市歯科医師会が口腔がん検診のポスター・ちらしを作成し、歯科医療機関に配布し、啓発。また、医師会、薬剤師会などの関係機関へ配布し、口腔がん検診の啓発を実施。

中央市民病院「がん市民フォーラム」において「口腔がん」をテーマに市民へ口腔がんの啓発を実施（5 月 19 日）。 新規

神戸市歯科医師会において「口腔がん研修会」を開催し、歯科医師を対象に、がんや前癌病変の鑑別のポイントおよび口腔がん治療の実際について、中央市民病院および神戸大学医学部附属病院の講師による講演を実施（2 月 23 日）。 新規

（２）　令和元年度の取り組み

引き続き、口腔がん検診を実施するとともに、ポスター・ちらしなどによる市民への啓発を実施。

５．周術期（手術前後）などの取り組み

（１）　平成 30 年度の実績

① 医科歯科連携の推進

「神戸市がん対策推進条例」に基づき設置した「神戸市がん対策推進懇話会」において、周術期の口腔機能管理と医科歯科連携について関係者との情報共有を実施。

中央市民病院では、平成 29 年度に外科、呼吸器外科の周術期口腔機能管理を神戸市歯科医師会 9 区の登録歯科医院に、直接当該科から紹介するシステムを構築。平成 30 年度は、新たに保険収載された脳卒中、人工関節置換術等の周術期等口腔機能管理を開始。　新規

西神戸医療センターでは、西区・垂水区・須磨区歯科医師会と定期的な連携会議を開催するとともに、周術期口腔機能管理に関する講演会・症例検討会を開催し、地域連携を推進。

歯科医師会では「協力歯科医院リスト」の更新を行い、随時、中央市民病院に提供。また、中央区歯科医師会では、歯科のない病院との医科歯科連携を実施。

市内のがん拠点病院（国指定）での周術期口腔機能管理の実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
神戸大学医学部附属病院	1,432件、延べ 3,666件	1,320件、延べ 4,378件	1,338件、延べ 3,323件
中央市民病院	754件、延べ 2,107件	557件、延べ 1,598件	671件、延べ 1,947件
西神戸医療センター	254件、延べ 528件	219件、延べ 527件	308件、延べ 592件

② 広報啓発

歯科医師会において、周術期口腔機能管理の重要性についてポスターを作成し、神戸市医師会、神戸市薬剤師会へ依頼し、市内の診療所・薬局での掲示を行い、市民への啓発を実施。

中央市民病院主催の「がん市民フォーラム」において、歯科衛生士が周術期口腔機能管理をテーマに、市民への啓発を実施（5 月 19 日）。新規

（２）　令和元年度の取り組み

① 医科歯科連携の推進

中央市民病院では、平成 31 年 4 月より、全国でも数少ない医科歯科連携モデルとして、予定手術時の周術期口腔機能管理について、原則として直接、医科から地域の登録歯科医療機関に依頼するように変更（化学療法など重篤な口腔症状のある場合を除く）。新規

西神戸医療センターでは、地域の 3 区歯科医師会と定期的に連携会議を行い、引き続き周術期口腔機能管理の推進について情報交換を実施。また、周術期口腔機能管理に関する講演会・症例検討会も引き続き実施。

６．災害時における歯科保健医療対策

（１） 平成 30 年度の実績

① 広報啓発

誤嚥性肺炎による震災関連死を防ぐため、平常時より口腔ケアに関する啓発を実施。

◆危機管理センターでの啓発（常時展示）

神戸市危機管理センター1階市民防災展示室において、災害時の口腔ケアの必要性について啓発。

◆地震ＩＴＳＵＭＯ講座などでの啓発 新規

「もしもの時も暮らしはつづく」手帳を活用し、災害時の口腔ケアの必要性について啓発。

◆長田区災害医療フォーラム

熊本地震等の災害時支援における医療活動報告や、長田区民の防災や発災時の備えに関する意識啓発を、長田区三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）、長田区、地域の関係者とともに実施（2 月 9 日）。

（２） 令和元年度の取り組み

危機管理センター、地震ＩＴＳＵＭＯ講座、長田区災害医療フォーラムなどにおいて、引き続き、広報啓発を実施。

＜参考＞

防災関連機関等との応援協定

① 神戸市歯科医師会と本市との間で、「災害時における応急歯科医療および口腔ケアの協力に関する協定（平成 24 年 10 月）」を締結し、災害時の歯科救護活動について、それぞれの役割分担を明確化。

② 生活協同組合コープこうべと締結している「緊急時における生活物資確保に関する協定」の中の緊急時に必要とされる品目として、歯ブラシを追加（平成 24 年 10 月）。

③ 学校法人玉田学園（神戸常盤大学短期大学部）と本市との間で、災害時における要援護者実態調査への専門職等の派遣、並びに福祉避難所のための場所の提供および管理運営に係る協力について「災害時における要援護者支援に関する協定」を締結（平成 27 年 5 月）。

計画の指標

神戸市の現状および国の目標値について

すべてのライフステージにおける指標		神戸市 策定時	神戸市 データソース	神戸市 現状値	神戸市 データソース	国 H34目標値
進行した歯周炎を有する人の割合を減らす	40歳	36.9%	H24 40歳総合健診歯周疾患検診	48.6%	H29 40歳歯周病検診	25.0%
	妊婦	38.1%	H24 妊婦歯科健康診査	50.1%	H29 妊婦歯科健康診査	―
毎年定期的に歯科健診を受ける人の割合	40歳代	36.9%	H23 市民の健康アンケート	60.2%	H.31市民の健康とくらしに関するアンケート調査 検診	65%（20歳以上）
	50歳代	37.2%	H23 市民の健康アンケート	61.6%	H.31市民の健康とくらしに関するアンケート調査	
フッ化物洗口を実施する施設数		247施設 13,016人	H24 こども家庭局 教育委員会 調査	285施設 14,700人	H30 こども家庭局 教育委員会 調査	―
咀嚼良好者（一口30回以上よくかむ）	18歳以上	22.0%	H23 市民の健康アンケート	39.5%	H.31市民の健康とくらしに関するアンケート調査	―
たばこと歯周病の関係について知っている人の割合		28.9%	H23 市民の健康アンケート	46.8%	H28 県健康づくり実態調査	―

ライフステージごとの指標			神戸市 策定時	神戸市 データソース	神戸市 現状値	神戸市 データソース	国 H34目標値
妊娠期	妊婦歯科健康診査の受診率	妊婦	31.2%	H24 妊婦歯科健康診査	34.7%	H30 妊婦歯科健康診査	―
乳幼児期	むし歯を持つ人の割合	３歳児	15.7%	H24 3歳児健康診査	11.3%	H30 3歳児健康診査	10%
	不正咬合のある者	３歳児	22.6%	H24 3歳児健康診査	22.1%	H30 3歳児健康診査	10%
学齢期	むし歯を持つ人の割合	６歳児	43.9%	H24 学校保健統計	37.2%	H30 学校保健統計（速報値）	―
		12歳児	36.8%	H24 学校保健統計	27.5%	H30 学校保健統計（速報値）	35%
	1人平均むし歯数	12歳児	0.83本	H24 学校保健統計	0.51本	H30 学校保健統計（速報値）	1本
	歯肉に異常がある人の割合	中３	19.3%	H24 学校保健統計	18.4%	H30 学校保健統計（速報値）	20%
		高３	35.2%	H24 学校保健統計	20.6%	H30 学校保健統計（速報値）	
若年期	歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	18歳～20歳代	―	H28 神戸市ネットモニターアンケート	26.3%	H28 神戸市ネットモニターアンケート	25%（20歳代）
壮年期	未処置を有する人	40歳	45.2%	H24 40歳総合健診歯周疾患検診	39.6%	H29 40歳歯周病検診	10%
	喪失歯のない人	40歳	88.8%	H24 40歳総合健診歯周疾患検診	82.9%	H29 40歳歯周病検診	75%
	24歯以上自分の歯を有する人	60歳	57.2%（55-64歳）	H23 市民1万人アンケート	62.5%	H28 神戸市ネットモニターアンケート	70%
高齢期	20本以上の自分の歯を有する人	80歳	37.6%（75歳以上）	H23 市民1万人アンケート	51.9%	H28高齢者一般調査（75－79歳）	50%
					44.0%	H28高齢者一般調査（80－84歳）	
					37.3%	H28在宅高齢者実態調査（75－79歳）	
					29.5%	H28在宅高齢者実態調査（80－84歳）	

定期的に歯科健診、歯科医療を受けることが困難な者における指標		神戸市 策定時	神戸市 データソース	神戸市 現状値	神戸市 データソース	国 H34目標値
障害者	障害者入所施設での定期的な歯科健診実施率	66.7%	H23 県の調査	69.2%	H28 県の調査	90%
要介護高齢者	高齢者入所施設での定期的な歯科健診実施率	32.3%	H23 県の調査	33.3%	H28 県の調査	50%